

第2回ランドスケープ講演会 南信州の魅力をランドスケープで磨き上げる

2023.3.2 信州大学大学院総合理工学研究科ランドスケープ研究室 小川総一郎

1. ランドスケープ・プログラムの使命

- (1) リニア開発を視野に入れた広域かつ長期的空間計画
- (2) 保全・開発バランスの実践
- (3) 各種ルールづくり
- (4) 実証演習でランドスケープの存在価値を示す
- (5) 世界で通用するランドスケープ・アーキテクトの育成



2. 南信州の優れた環境と景観を保全・創出するための4つの提言 (2022.6.9 発表済)

- (1) 子どもたちに伝えたいご自慢の風景コンテスト
- (2) 崖線樹林と平地林の保全・復元
- (3) 中小河川と水路の活性化モデル地区創設
- (4) 道路・鉄道景観モデル地区創設



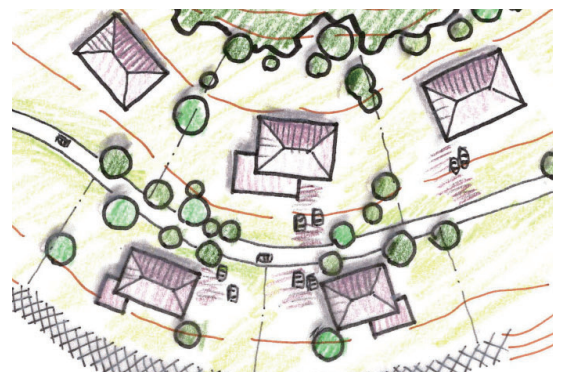
3. カリキュラム：海外の修士プログラムのように、論文ではなく修士制作と演習が主体

	M1		M2	
	前期	後期	前期	後期
実習系	プレゼン実習 素描, GIS, CG ランドスケープ特論 造成・排水・スケッチ			
演習系		デザイン演習Ⅰ ①リニア駅周辺広域LA計画 ②リニア駅周辺LA計画	デザイン演習Ⅱ ③高森町東部広域LA計画 ④かわまちづくり・ヤマブキ	⑤未定 ⑥未定
研究	特別研究（修士制作）			

リニア中央新幹線長野駅周辺ランドスケープ計画



ニイマル・ブロック



レイクサイド・ブロック



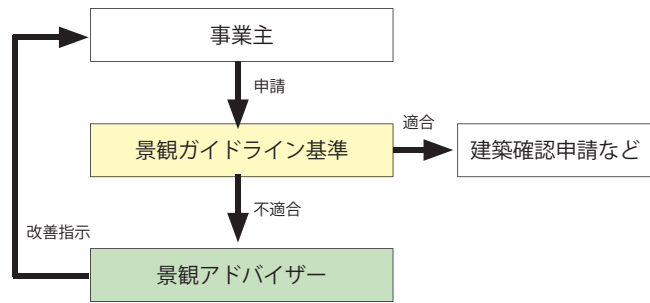
4. 3.02 提言：景観ガイドライン基準の設定と景観アドバイザー制度の創設

対象：南信州広域連合管轄区域における新規建築物・屋外広告物・土木構造物

審査項目

- 建築**：色彩，敷地内緑化，周辺環境との調和を乱す恐れのあるもの
- 屋外広告物**：高さ，サインの大きさ，色彩
- 土木構造物**：擁壁足元緑化，のり面緑化，色彩

- 審査時期**：建築確認申請などの申請前に景観ガイドライン適合確認申請を行う
- 景観アドバイザー**：建築士，ランドスケープ・アーキテクト，サイン専門家から構成する



推進手順

1. 景観アドバイザー制度の仕組みを作る
2. 景観ガイドライン基準を作成する
3. モデル地区設定
4. 優良事例表彰制度

【景観無法地域】

【景観ガイドライン設定地域】

